

西枇杷島地区の保育ニーズへの対応に関する考え方

1 市内保育所の入所状況及び西枇杷島保育園の申込み状況

市内には13保育園、2幼稚園を有しているが、西枇杷島地区には保育園が1園、幼稚園2園体制のため、この地区の保育ニーズに応えられない状況になっている。特に、乳児の保育ニーズは年々増している。なお、西枇杷島保育園の平成25年度入所申込みは、下表のとおりである。

■年度別園児数の状況

区分	園名	定員	20年		21年		22年		23年		24年	
			乳児	幼児								
	西枇杷島	130	44	83	46	79	48	79	46	83	39	89
	本町	120	22	77	21	73	31	68	18	69	30	66
	一場	120	17	93	20	98	21	81	19	88	20	78
	花水木	230	35	151	35	150	38	142	42	140	60	159
	新清洲	120	0	100	9	97	10	105	10	107	10	90
	朝日	120	23	70	14	77	25	70	27	78	22	80
	須ヶ口	180	39	117	37	119	49	141	50	134	54	129
	土器野	120	29	84	34	92	20	104	37	84	33	89
	桃栄	150	29	119	27	113	24	111	20	86	29	89
	星の宮	160	38	131	32	125	30	129	40	113	33	111
	中之切	75	9	41	9	55	12	60	14	62	11	65
	ネギヤ	90	13	68	17	82	17	78	15	73	18	62
	夢の森	120	21	63	19	76	17	73	20	68	20	58
	計	1,735	319	1,197	320	1,236	342	1,241	358	1,185	379	1,165

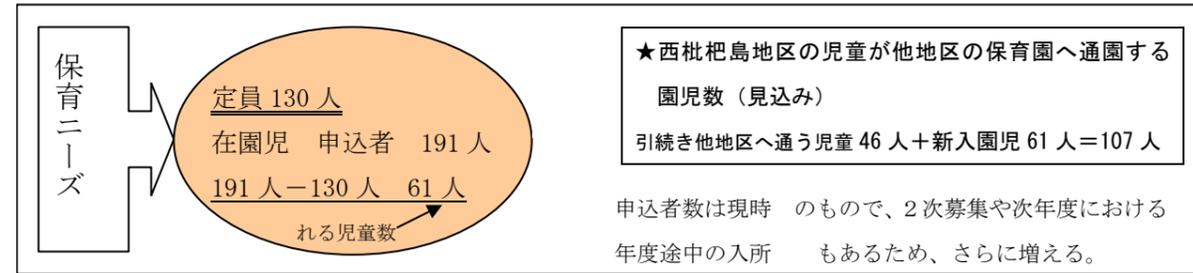
(各年10月1日現在)

■平成25年度西枇杷島保育園の申込み状況

園名	区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
西枇杷島 保育園 定員130名	在園児	0	12	24	21	28	35	120
	申込み児童数	9	29	14	17	1	1	71
	計	9	41	38	38	29	36	191

(平成24年11月15日現在)

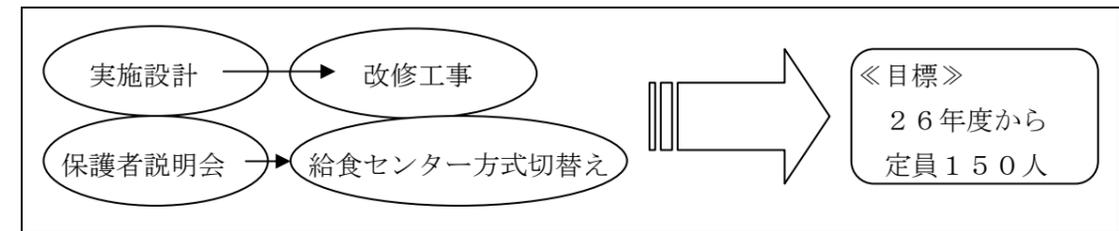
★西枇杷島保育園(次年度)



2 西枇杷島保育園における給食センター方式への移行

- 市内の保育園13園、幼稚園2園の内、唯一西枇杷島保育園だけが自園給食を行っている。
- 給食については、西枇杷島保育園も含めて、平成20年に構造改革特別区域計画の認定を受けており、新給食センターの竣工を踏まえて、他の施設と同様に外部搬入方式に切替えることになっている。
- 自園給食のため園児130人分に限定されているが、外部搬入方式にすることにより、調理数を増やして、現在の定員130人を150人程度に改める。

■進め方(案)



3 西枇杷島第2幼稚園における保育園化への移行

- 教育委員会の方針で西枇杷島第2幼稚園においては、平成25年度入所児を対象とした「きりんサークル」を募集して行っており、次年度入所する園児が卒園する27年度末までは幼稚園。
- 幼稚園(学校教育施設)を保育園(児童福祉施設)に用途変更するには、建築基準法の制約を受けるため、改修工事が必要となってくる。
- 改修工事は、27年度末に幼稚園の廃止手続き(財産処分も含めて)を行った後、着手する。手続き前に工事着手することは不可。(県教育委員会施設財務課で確認。)

■保育園化計画(案)の比較

区分	案1	案2
内容	○温水プール跡地に仮園舎(保育園)を建設し、園児の行き場を確保した上で幼稚園を改修する。	○温水プール跡地に保育園を新築し、開園する。同時に西枇杷島第2幼稚園は閉園する。
メリット	○コストは低い。 ○用途変更が計画通り行われ、保育ニーズに応えることが可能。	○新築のため耐用年数は長い。 ○隣接するたんぼぼ園との交流。また、芳野公園とも隣接しており、周辺環境は良好。駐車場問題も緩和する。
デメリット	○改修工事のため耐用年数は短い。 ○仮園舎は約半年から1年間の利用。 ○園周辺道路は7-9規制、駐車場問題など課題は多い。	○コストは高い。 ○西枇杷島小学校区に位置しており、土器野保育園にも近い。